

大人になった今こそ響く大正時代の歌と物語

朗読と月琴の午後

- 『赤いろうそくと人魚』 小川未明 作 / 吉田稔美 投影画像
- 『月琴』 小川未明 作
- 『白月』 三木露風 作詞 / 本居長世 作曲
- 『砂山』 北原白秋 作詞 / 中山晋平 作曲

富塚 研二 (朗読・歌)



永田 斉子 (月琴)

4.19 2026 開場 13:30
⑧ 開演 14:00

芸術家の家スタジオ JR目黒駅徒歩6分

事前予約制 / 投げ銭形式
お問合せ tommy.labo.831@gmail.com

ご予約は3月19日より承ります。
WINDS CAFE 公式サイト (右記QR) より
お申し込みください。

WINDS CAFE 352



時代を越え現代の私たちにとってもかけがえのない文化遺産です。

「私の書いて来た童話は、即ち従来の童話や世俗のいう童話とは多少異なった立場にいるといえます。むしろ大人に読んでもらった方がかえって意の存するところが分かりますが、あくまで童心の上にたち、即ち大人の見る世界ならざる空想の世界に成長すべき童話なるがゆえに、いわゆる小話ではなく、やはり童話といわゆるべきものでありますように」(小川未明 『今後を童話作家に』 1926年)

春の午後のひととき、朗読と月琴の演奏をお楽しみください。

朗読と月琴の午後

2026 4.19 (日) 開場 13:30 | 開演 14:00 芸術家の家スタジオ

富塚 研二 (朗読・歌)



国立音楽大学声楽学科卒業。声楽を矢輔和雄、宮永康生、須藤美衣子に、オペラ重唱を山田純彦に師事。竹内敏晴主宰「竹内演劇教室」、野口三千三主宰「野口体操教室」に参加。クラシック声楽での活動のほか異分野表現者との共同作業多数。2008、09年「旭川」雪の降る街を音楽祭「中田喜直 記念コンクール」にて2年連続で、第二位 金賞・内村直也賞を受賞。2010年奏楽堂日本歌曲コンクール入選。声を使う職業人へのトレーニングを各地で開催。

<出演作品>

劇団「石るつ」公演「鍋屋の紐はなぜ朱い」「入口と出口」「犀」「悪童日記」池袋小劇場企画公演「私の中の音」、新国立劇場演劇「あの出来事」、劇団「娯楽天国」創立30周年記念公演「娯楽天国の『お気に召すまま』」

永田 斉子 (月琴)



故郷・長崎において、約200年前から口伝で受け継がれてきた月琴音楽を研究。幕末から明治・大正期にかけて大流行したものの、現在では失われつつある月琴音楽を現代に蘇らせる試みを行っている。演奏には明治時代に製作された月琴を使用。その音色を生で聴く機会は、現代では稀有なものとなっている。CD『月琴～MOON LUTE～ お龍が奏でた楽器、龍馬が聴いた音楽』をリリース。また、朗読家たちの協力を得ながら、月琴にゆかりのある文学作品を題材とした朗読音楽会を数多く開催している。西洋の古楽器リュートの奏者でもある。

事前予約制／投げ銭形式

お問い合わせ
tommy.labo.831@gmail.com

ご予約は3月19日より承ります。
WINDS CAFE 公式サイト (下記QR)
よりお申し込みください。

